

冬休みの思い出と三学期の目標

- 牧野 詩音…家でいとこと一緒にカードゲームをして遊んだこと。
苦手な食べ物を少なくする。
- 昆野 透聖…お姉ちゃんと一緒に旅行に行ったこと。
勉強のまとめを頑張る。
- 宍井菜奈子…島根県の体験留学で三瓶山に登ってみんなで雪で遊べたこと。
中学校に向けて復習を頑張る。
- 村田 鉄磨…家族でアメリカのミシガン州に行き、かまくらを作ったり、バギーでソリを引っ張ってもらって遊んだこと。
家や知人に手紙をかくこと。
- 成田 陽帆…旅行で和歌山県に行って、海で鯛を釣ったこと。
社会と国語の成績を上げる(5にしたい)。
- 田仲 ゆめ…家族と一緒にカラオケに行ったこと。
階段を静かに下りたり、上がったたりすること。

**明けましておめでとうございませ
本年もよろしくお願ひします**

一月五日・六日、冬休みを家族と無事に過ごした山留生が元気にセンターに帰って来てくれました。三学期は「あつ」という間に過ぎてセンターを卒業する時が来てしまいます。

子供達には、残りの限られた時間を美山の大自然の中で、思いつき楽しんでほしいです。



美山に雪がない

1月5日6日、二日に別れてセンターに帰って来た子供たちの第一声が「雪が積もってない…」。

毎年12月に入って冬休みの前後には積雪があり、三学期を前に雪遊びをするのが山留生の一番の楽しみです。しかし今シーズンは昨年末から数回程度、山頂に薄っすら雪を見ることがあっても、雪遊びが出来るような雪が降ることが一度もあません。しかも京都市内では初雪はおろか、気温がマイナスに一度もなっていないらしく、「地球温暖化」や「暖冬」と言った言葉をよく聞いたり目にしたりします。それは美山に限らず、あちらこちらのスキー場も大ピンチの様子。しかし子供たちには温暖化も暖冬もスキー場のピンチも関係ないのです。とりあえず雪遊びがしたいんです。山留生の中には指導員に「雪を降らせて…」みたいなことを言う子供も。でもそれは無理と言うもの。天に向かって雨ごいならぬ雪ごいをするも結果につながらず、さみしい日々を送っています。

朝マラソン優秀者



1月7日、始業式を終えて帰って来たこの日、2学期朝マラソン優秀者の表彰式をしました。今回の表彰者は走った回数が多い順位からナナコ・ユメ・ハルトの3名です。今年の2学期は台風や悪天候の影響も少なく、みんな頑張って走ることが出来たようです。その努力のおかげか、駅伝の選手にセンターから3名も選ばれてチームのために貢献することが出来ました。3学期も寒さに負けずに元気いっぱい走ってほしいです。

結果が出ず残念な子供たち



雪ごいをする子供たち



結果が出ず残念な子供たち

とんど



1月13日、地域で行われた「とんど」に山留生たちは今年も参加してもらいました。とんど焼きとは神社の境内などで竹や松で台座を組み上げ、各家から持ち寄られた門松や正月飾りを焼いてお正月にお迎えした歳神様を送る行事で、その火煙や灰の高さで五穀豊穡を占ったり無病息災を願ったりします。また、書き初めを投げ入れ空高く舞い上げ字の上達を願ったりする行事です。今年の書き初めはものすごい高さまで舞い上がり、子供たちの「字が上手になりますように」との願いもかなえられることでしょう。そして、最後はお待ちかねのお餅です。とんどの残り火で焼いたお餅を砂糖醤油に付けて、何度も何度もお代わりをしていました。しかし一番気になったのは周りの景色です。全く雪がないのです、雪のないとんどは美山に来て初めての経験です。

来年度に向けて

1月13日、来年度長期留学を希望されている方が2月8日・9日に実施される「冬の体験留学」に参加する前にセンターを見学に来られました。今年度は10月の中旬に実施した週末体験も含むと、今回で4回目となります。冬の体験では大勢の人と決められた行動をしてもらう事になるので、山留生が実際どんな生活をしているのかわかりづらいと思い、事前に現役山留生の日常に触れ合ってもらおう事をお勧めしています。子供さんには山留生と一緒に遊んでもらい、保護者の方には指導員がセンターの決まり事をお話したり、質問にお答えしたりしています。一人でも多くの方に山村留学を希望してもらえるように努力している毎日です。ちなみに今月下旬にもセンターの見学に来られる予定です。

福知山城



1月19日、今夜から始まるNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公の明智光秀が築いた福知山城に行って来ました。福知山城公園の駐車場に着いて、お客さんの多さにビックリ。お昼ご飯を食べて、いざ出発…、昇龍橋と言う結構高くて急なアーチ型のコンクリート製の橋を「よっこらしょ」と渡ってチケットを買いお城へ。お城の中や周辺には敵が攻めにくくなるような工夫がいっぱいされていて、子供たちはしきりに感心したり、石垣の大きさや天守閣からの景色にも感動していました。お城を出て隣にある佐藤太清記念美術館の2回に「福知山光秀ミュージアム」が設けられていて、なぜ光秀が信長を討ったのか、諸説があることやそれら多くの謎について実写映像の上映や光秀の功績などを知ることによって子供たちの光秀に対する見方がすっかり変わったようでした。

残念な出来事

平成29年の下地区の夏祭りで、当時の山留生が金魚すくいでもらって帰って来た10数匹の金魚たち、去年の2月には4匹にへってしまったのですが、それでも大きな水槽の中ですくすと10数センチの大きさまで育てていました。しかし、冬休みを終えて子供たちがセンターに帰って来ると、何と3匹が死んでいました。3匹のお墓を作って、残りの1匹も弱っていたので自然へと返してやりました。生き物を育てるのはたいへんですね。今年の夏祭りに金魚をもらって帰るか、ただ今検討中です。

お母さんの一人言

新年を迎え一年がスタートしました。暖冬で雪が降らず、楽しみにしている雪遊びが出来ず子供達残念そうですが、よい天気には外で「バドミントン」や「かくれんぼ」。雨の日は中で「卓球」や「トランプ」と、6人仲良く過ごしている毎日です。3学期、あっという間です。楽しい思い出たくさん作ってほしいと願っています。